

【後期 第10問】

MとSとTは三人で日頃からよく遊んでいたが、リーダー格であったTが「コンビニで万引きできたやつには今晚おごってやるよ」と言い出した。MとSは今後仲間外れにされることを恐れ、これに同意した。二人は同時に店内に入ったが、Mはかばんに入っていた封を開けていないコーヒーがあることを思い出し、Sより先にコンビニを出て、あたかも万引きしてきたかのようにTにコーヒーを見せた。

Sはコンビニで売っていた小さめの消しゴムをポケットに入れた後、これでは二人に馬鹿にされるかもしれないと考え、店主の目を盗んでお菓子を数点かばんの中に入れた。Sはここでコンビニを出た。

三人は知らなかったが、このコンビニでは監視カメラが設置されており、顔ははっきりとしないながらもSの万引きの様子が映されていた。店主が警察へ被害届を提出したことで、この映像がテレビで放映されるまでに至った。Tはこれを見て、そもそもは自分が言い出したことでSには申し訳ないことをしたと思い、Sを呼び出して「ほとぼりが冷めるまで家に来ないか」と提案してSを匿った。

M、S、Tの罪責をそれぞれ論ぜよ。

参考判例：最高裁平成19年7月2日第一小法廷